

経営比較分析表（平成28年度決算）

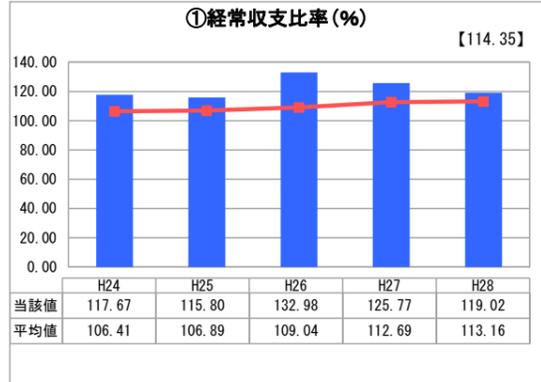
岩手県 滝沢市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.13	91.11	3,349	

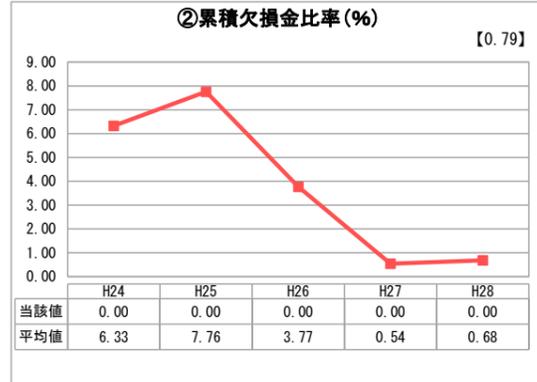
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
55,246	182.46	302.78
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
50,213	56.04	896.02

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	平成28年度全国平均

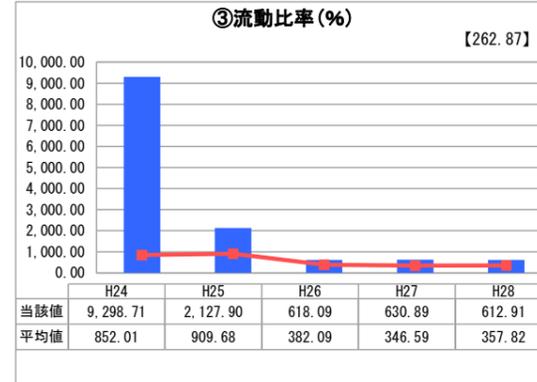
1. 経営の健全性・効率性



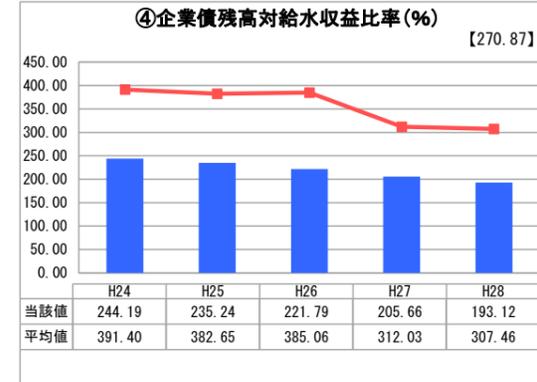
「経常損益」



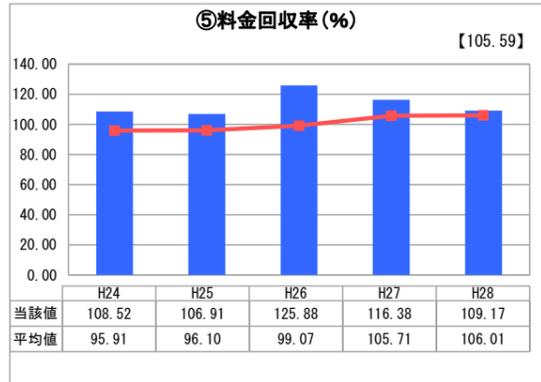
「累積欠損」



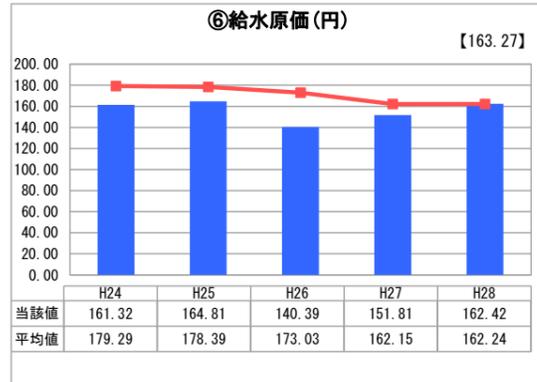
「支払能力」



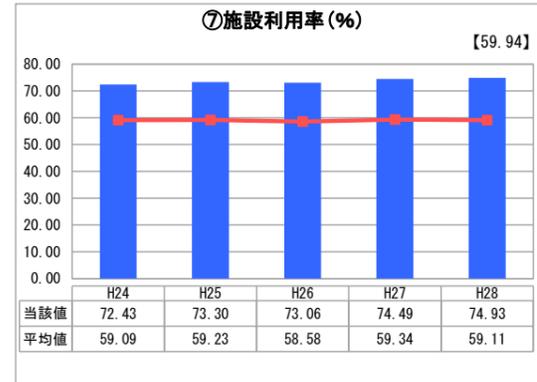
「債務残高」



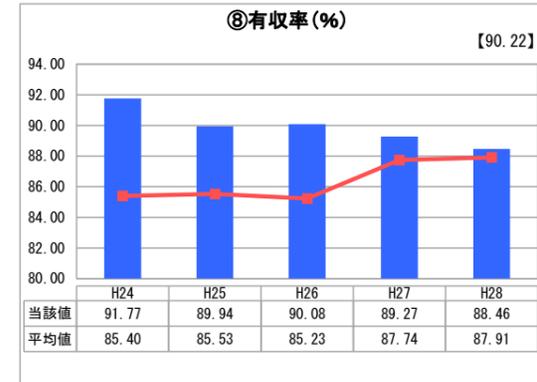
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

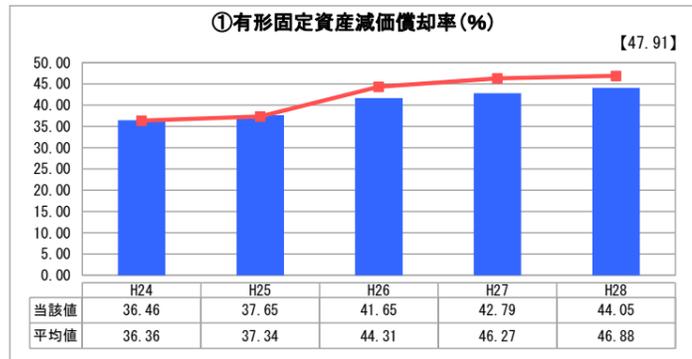


「施設の効率性」

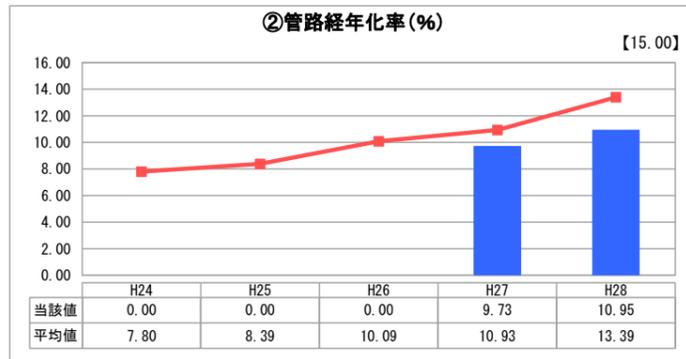


「供給した配水量の効率性」

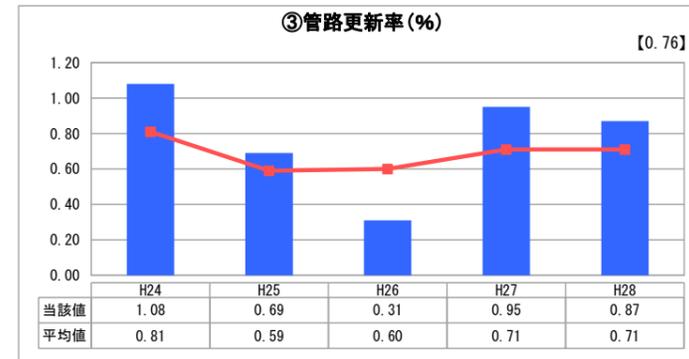
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性・効率性を表す指標は、いずれも全国平均や類似団体の経営状態よりも良好なものとなっています。

本市の水道事業は、現在のところ効率的な経営がなされていますが、今後、施設更新のための資金需要や、簡易水道との統合により引き継ぐ起債償還のための資金需要が増加し経営状況に厳しさが増してくるものと予想されます。

このため、水道施設の長寿命化を継続し、施設更新に必要な経費を圧縮するとともに、業務内容を常時点検し経費削減が見込まれるものは、業務の委託化を進めながら、組織と職員定数の見直しを行い経営の効率化を図ってまいります。

また、計画的な施設更新を行うためには、料金の適正化も検討する必要があります。効率的な経営を行ったうえで適時・適切に水道料金の改定ができなかった場合、収入と支出のバランスを欠くことになり、健全経営が維持できなくなる恐れもあります。

2. 老朽化の状況について

本市の水道施設は、現在のところ老朽化の問題が顕著になっていませんが、今後、施設の更新需要が高まってくるため、施設更新を計画的に進める必要があります。

このため、将来必要と見込まれる施設更新費用と投資可能額に基づき、更新需要の平準化や施設統廃合など施設規模の適正化、水道料金改定も検討しながら経営見直しを立てる「アセットマネジメント」の成果を活用し、経営の安定化に努めてまいります。

管路更新については、昭和50年代に布設された管強度の低い塩化ビニル管を更新する必要がありますが高まっています。このため、管路更新計画を定め、老朽管更新を進めてまいります。

全体総括

本市は岩手山麓の水資源を活用した水道施設の整備を進めながら、安全な水道水を必要なだけ供給できる体制を組み、常に市民が安心して水を利用できるよう事業経営を行ってきました。

将来とも安心して水道をお使いいただくために、次の三つの事業目標を設定し、水道事業の健全経営に努めてまいります。

- 【安心・安全】安心して飲むことができる安全な水道
- 【安定・強靱】安定した給水を実現する強靱な水道
- 【環境・持続】環境に配慮した持続可能な水道

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。